



「蔵 図書館」が開館

4月10日、高倉に「蔵 図書館」がオープンしました。これは、市のまちづくりファンドを活用し、古蔵を改修して、地域の交流の場をつくろうと、市民団体「志筑地区イノベーション組合」が企画したものです。

壁一面の本棚には、こだわりの絵本や小説などが並び、らせん階段を登ると二階にも図書スペースがあります。また、室内には薪ストーブも置かれ、とてもこだわった造りになっています。図書は約1,700冊が用意され、子どもから大人まで幅広い世代が、読書を楽しむことができる空間になっています。この他、屋外には開放的に本が読めるウッドデッキや読書小屋も配置され、交流の場にもなっています。
▶ 図書館運営を手伝ってくれるボランティアを募集しています。詳しくは市民協働課までお問い合わせください。



新型コロナウイルスワクチン接種

4月20日から22日までの3日間、市では、かすみがうらウエルネスプラザ体育館で、市内の医療従事者282人に「新型コロナウイルスワクチン接種」を行いました。ワクチン接種により、最前線で新型コロナウイルス感染症の対応に当たる医療従事者の皆さんが、安心して医療に従事できるようになります。

今後は高齢者の皆さんの接種が開始され、ワクチン接種が拡大していきます。



ミニサイクリング

4月7日、市健康増進推進員（いきいきメイト）主催の「ミニサイクリング」が行われ、14人が参加しました。サイクリングを通して健康づくりを楽しむために企画され、参加者は市交流センターを出発して霞ヶ浦ふれあいランド（行方市）へ向かいました。霞ヶ浦湖畔の美しい景色や、春の陽気を感じながらのサイクリングで、心も体もリフレッシュ。参加者からは「天気にも恵まれ、心地良い風を感じることができた」と話してくれました。



消防団入団式 力を合わせてまちを守る

4月4日、あじさい館で「消防団入団式」が行われ、今年度は15人が入団しました。新入団員の任命書の授与やサービスの宣誓、礼式訓練、車両展示が行われ、酒井団長から「消防団の活動は、地域住民と信頼関係を築くことや、さまざまな災害に備えて日々訓練に励むことが大切です。団員としての自覚と誇りを持ち、活動に励み、地域住民との繋がりを大切に、市の防災力向上のため尽力をしていただきたい」と激励の言葉がありました。



春の昆虫ウォッチング

4月29日、雪入ふれあいの里公園で「春の昆虫ウォッチング」が行われました。チョウやバッタなどの春の昆虫を探しながら、公園内を散策しました。雨の中でも活発に動く昆虫に触れたり、カメラで撮影したり、思い思いに観察。捕まえた昆虫を逃げられないように虫籠に入れる親子の姿もありました。観察を終えて室内に戻り、講師の先生が昆虫の標本を見せながら解説すると、親子で熱心に聞き入っていました。



オリンピック聖火リレートーチを展示

4月17日、18日、あじさい館で「オリンピック聖火リレートーチ、パラリンピック聖火リレートーチ展示」が茨城県内巡回展示の一環として行われ、約500人が見学に訪れました。

トーチは、全長71㍉、重さ約1㍑で、東日本大震災に伴う仮設住宅由来の再生アルミニウムが約3割含まれており、見学者からは「色がとてもきれい」などの感想が聞かれました。



企画展で明治時代の歴史にふれる

4月29日から、市歴史博物館で「新時代への夜明け—水戸藩の影響を受けた志士たちの明治維新—」の企画展が始まりました。日本において、急速に近代国家を成立させた明治時代。多くの国民がさまざまな分野で活躍した時代でした。今回の企画展では、かすみがうら市を代表する6人の人物に焦点を当て、偉大なる明治維新の功績を紹介しています。企画展は7月4日まで行われますので、ぜひご来館ください。

